



## 千地申「新小岩駅・君津駅の業務執行体制の見直し」 2号 に関する団体交渉を行う！

地本は、新小岩駅の南北自由通路開通による改札口の統合と、君津駅の出改札スペース統合によって、効率的な業務執行体制へと見直し（標準数減）を行う旨の提案を受けました。効率化以降も現場の社員が不安や負担を感じることなく、「安全・健康・ゆとり・働きがい」の確保された職場を創るため、団体交渉を行いました。

### ■施策の目的と根拠

【ポイント】 「要員」が減っても、お客さま対応や遺失物の「件数」が減る訳ではないため、見直し後の要員で運営可能とする「根拠」について議論しました。

【会社回答】 ・施策実施後、新小岩駅は6テ1変(標準数△6)、君津駅は3テ1変(標準数△1)の出面となる。

- ・新小岩駅は、南北の改札口が一つになり、改札業務が効率的になる。  
また、エレベータの整備により業務の負担軽減を図れたため、体制の見直しを図る。
- ・君津駅は、出改札の統合により、社員間の連携が取りやすくなる。一部、出改札の業務が輻輳する時間はあるが、対応できると考えている。支社としても地区を介してサポートしていく。



### ■君津駅でのお客さま対応

【ポイント】 出改札兼掌化による遺失物搜索の難しさや、一人で両方の窓口を担うことの精神的負担を議論しました。

【会社回答】 ・兼掌化後も、遺失物は可能であれば対応いただくが、業務輻輳等で車内搜索に行けない場合でも、社員への責任は問わない

- ・休憩中の社員が遺失物搜索に出動するかは現場の判断になるが、必要な休憩を取るよう指導している。
- ・新学期などの業務繁忙期は、これまでどおり日勤者を付けて案内を行う等、駅等総体で対応する。

### ■新小岩駅ホームドアとの関連性

【ポイント】 ホームドア導入後も人身事故はゼロにはならないことを主張し、一定期間は要員を配置して検証すべきと議論しました。

【会社回答】 ・今回の要員見直しは「改札口の統合」によるもので、ホームドア設置とは関連しない。

- ・ホームドア導入で人身事故は減ると考えられるが、無くなるとは想定していない。
- ・ホームドアの不具合発生時は駅社員が対応する。ホームドアの訓練は、ほぼ終了している。
- ・通勤対策は現状通りに行く。要員の見直しは今提案以上のものについて現段階では考えていない。
- ・ホームドアの異常などは駅総体で対応するが、必要であれば地区や支社も対応する。



### ■作業ダイヤ

【ポイント】 現場社員の意見をもとに、ゆとりを持たせた作業ダイヤを作成することを求めました。

【会社回答】 ・作業ダイヤについては、社員の意見を取り入れ作成する。

- ・新小岩駅では、社員の意見に基づき、出札の発売時間を短縮し、その分を改札に入るなどの作業ダイヤを検討している。
- ・君津駅の出改札兼掌を行う時間に関しても、現場社員の意見を聞いて策定していく。



### ■施策実施に伴う面談・異動

【ポイント】 今施策に伴う異動は、面談で一人ひとりの社員の特情を考慮し行うことを求めました。

【会社回答】 ・社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については個人面談等で前広に把握していく。



施策実施後、会社回答どおりに問題なく業務ができているかを検証し、「職場の声」に基づき改善を目指します！  
「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある営業職場を創るため、職場の問題点をJR東労組にお寄せ下さい！